

令和 7 年度スポーツ推進事業について

政策 I 子どものスポーツ機会の充実
I-1 未就学児の運動機会の充実・運動習慣や体力の重要性についての啓発

○親子ふれあい体育教室の充実

期日等	令和 7 年 6 月 1 日～令和 8 年 2 月 7 日 全 8 回	
会 場	磐田市総合体育館 外	
対 象	幼稚園・保育園・こども園 年中・年長児と親、 小学校 1・2 年生 児童と親	
参加者	102 組（園児 61 組、小学生 41 組）	
内 容	集団の中で協力し合い、子どもが 自ら進んで運動できるように、 親子運動を中心とした教室を開催。 （その他サーキットトレーニング、 トランポリン、なわとび等を実施）	

○ジュビロ磐田と連携した幼児合同スポーツ教室（サッカー）

期日等	令和 7 年 4 月 16 日～令和 8 年 3 月 4 日 全 23 回	
会 場	上大之郷グラウンド・ヤマハ加茂グラウンド	
対 象	年長児	
参加園	41 園（延べ人数 967 名）	
内 容	ジュビロ磐田の施設等で、複数 園が一緒に活動。普及スタッフ の指導のもと、ドリブルや シュート練習、ミニゲームを通して サッカーに触れる機会となった。	

令和 7 年度スポーツ推進事業について

○静岡ブルーレヴズと連携したラグビー体験

期日等	令和 7 年 5 月 23 日～令和 8 年 2 月 13 日 全 42 回
会 場	園庭ほか
対 象	年長児
参加数	42 園（延べ人数 1,041 名）
内 容	静岡ブルーレヴズ普及担当の協力を得て、園児を対象にラグビー体験を実施した。 ラグビーボールに触れたり、タックルをしたりすることを通してラグビーに触れる機会となった。



○親子でできる運動プログラムの提供、市内にある公園や遊具などの紹介
 静岡産業大学の協力を得て作成した“イワタ de 運動あそび”を配布

I-2 小中学生の運動機会の充実・体力向上につながる事業の推進

○わくわくスポーツ教室の充実

期日等	令和 7 年 6 月 28 日～令和 7 年 12 月 13 日 全 8 回
会 場	福田南島体育館 外
対 象	小学校 3・4・5・6 年生児童
参加者	19 名
内 容	運動の苦手な子どもや運動をする機会が少ない子どものために、運動に親しみ、進んで運動ができるきっかけを提供するための教室を開催した。



令和 7 年度スポーツ推進事業について

○ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の実施

期日等	令和 7 年 5 月 17 日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内小学校 5 年生・6 年生
参加者	小学校 5 年生・6 年生約 3,000 名、引率教員等
内 容	同年代の子どもたちが一堂に会しジュビロ磐田の試合を観戦することで、スポーツに関心をもつきっかけをつくるとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。 ジュビロ磐田 vs いわき FC 

○静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦事業の実施

期日等	令和 8 年 1 月 17 日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内中学校 2 年生
参加者	中学校 2 年生約 1,500 名、引率教員等
内 容	同年代の子どもたちが一堂に会し静岡ブルーレヴズの試合を観戦することで、スポーツに関心をもつきっかけをつくるとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。 静岡ブルーレヴズ vs 三菱重工相模原 

令和 7 年度スポーツ推進事業について

○三遠ネオフェニックス バスケットボールクリニック

期日等	令和 7 年 12 月 6 日（土）	
会 場	竜洋体育センター	
対 象	中学校男子バスケットボール部 1・2 年生	
参加者	部員 37 名+引率 4 名	
内 容	三遠ネオフェニックスアカデミー コーチの協力のもと、実施。 専門的なアドバイスを受けることで、 競技力向上を図るとともに バスケットボールの楽しさを感じることを目的に開催。	



○小学生トランポリン体験会

期日等	令和 8 年 3 月 7 日（土）	
会 場	磐田市アミューズ豊田	
対 象	小学 1 年生～ 6 年生	
参加者	50 名	
内 容	全国大会の開催に併せ、静岡産業大学トランポリン部と公益財団法人 日本体操協会の協力を得て、トランポリン、タンブリング、ダブルミ ニトランポリンの 3 種目の体験会を開催。	

令和 7 年度スポーツ推進事業について

○中学校部活派遣事業の実施

期日等	令和 7 年 4 月 22 日（火）から
指導校	城山中・向陽中・福田中・竜洋中
対 象	市内公立中サッカー部員
回 数	56 回（2 月末時点）
内 容	スポーツに係るブランド力を向上させることを目的として任用している元プロサッカー選手の任期付職員を、サッカー部活動のスキル向上のためにコーチ派遣事業を実施。ゴールキーパーという経歴を生かし、ゴールキーパーに特化した練習も取り組んだ。 

○ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと小中学生の交流事業の実施

- ・学校訪問（ジュビロ） 小学校 22 校
- ・夢語り（ジュビロ、レヴズ） 小中学校 14 校
- ・ラグビー体験、講座（レヴズ） 小中学校 9 校
- ・タグラグビー継続指導（レヴズ） 小学校 5 校
- ・学校訪問（ボニータ） 小学校 3 校

○磐田スポーツ部活の実施（放課後活動課）

中学生のスポーツ活動の機会充実及び教員の負担軽減を図るため、地域の団体、大学及び企業と連携し、学校部活動の枠を超えた新たな（磐田スポーツ部活）事業を実施した。

○各種スポーツ大会に出場する個人・団体への支援

予選を勝ち抜き全国・世界大会へ出場を決めた選手、チームへ支援を行った。

令和 7 年度実績（2 月末時点）： 97 件 139 万円

令和 7 年度スポーツ推進事業について

政策Ⅱ ライフステージに応じ誰もがスポーツに親しむ機会の創設

Ⅱ-1 成人におけるスポーツの推進

○楽 La 歩（ららぽ）ウォーク

期 日	第 1 回：令和 7 年 9 月 20 日（金）～ 9 月 23 日（火・祝） 第 2 回：令和 8 年 3 月 20 日（金・祝）～ 3 月 22 日（日）
会 場	ららぽーと磐田館内
参加者	第 1 回 延べ 372 人 第 2 回 未定
内 容	日常生活の中に運動習慣を取り入れ、スポーツを身近に感じてもらうきっかけとなるようららぽーと磐田と協力して開催。健康増進課と西静岡ヤクルト株式会社はチェックポイントとして連携。 9 月 23 日は「スポーツエキスポ 2025」としジュビロ磐田、静岡 SSU ボニータ、ブレス浜松、ハヤテベンチャーズ静岡、ベルテックス静岡、アザレアセブンと体験型イベントを実施した。



○いわたスポレク健康フェスティバルの開催

期 日	令和 7 年 10 月 19 日（日）
会 場	かぶと塚公園
参加者	約 1,000 名
内 容	スポーツの秋に誰もが参加できる行事として実施。市民相互の親睦と健康増進を図った。 体力測定、トランポリン等多種目にわたり体験を行った。



令和7年度スポーツ推進事業について

○大人のラグビー交流会

期 日	令和8年2月25日（水） 3月4日（水）
会 場	磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ球技場
参加者	延べ26名
内 容	静岡ブルーレヴズ普及スタッフによる大人対象のラグビー体験会を開催。ラグビーに親しむ機会とするとともに、交流する場として位置付けた。

○第28回ジュビロ磐田メモリアルマラソン大会開催支援

期 日 令和7年11月30日（日）

参加者 エントリー数：7,299人

○指定管理者等の特長を生かしたスポーツ教室等の実施

各施設の指定管理先が施設の特長を生かしながら工夫をし、幼児から高齢者までの各種教室を開催した。

○市民だれもが取り組むことができる健康づくり事業の促進

期 日 令和7年4月～令和8年3月

会場等 各地区公会堂、交流センター

内 容 【いきいき百歳体操】主管：福祉政策課

【みんなでラジオ体操】主管：自治デザイン課

【ベジチェック】主管：健康増進課

令和 7 年度スポーツ推進事業について

Ⅱ-2 障がいのある人のスポーツの推進

○発達支援親子のびのびスポーツ教室の実施

期 日	令和 7 年 8 月 30 日～令和 7 年 11 月 1 日 全 4 回
会 場	福田屋内スポーツセンター武道場、ゆめりあ
対 象	磐田市内の小学校特別支援学級の児童と保護者 磐田市在住の特別支援学校の児童と保護者
参加数	16 組 (32 名)
内 容	参加する子どもたちの発達段階に合わせた指導を行い体を動かす楽しさを体験できる教室を開催した。 親子運動、ダンス、パラバルーン、トランポリン 外



○いわたモルック CUP

期 日	令和 7 年 11 月 22 日(土)
会 場	かぶと塚グラウンド
参加者	11 チーム (40 名)
内 容	令和 5 年度に開催したモルック体験会からの発展としてモルック CUP を企画。 令和 6 年度は雨天中止となったため、初開催となった。 当日は予選リーグ、決勝トーナメントで順位をつけた。



令和7年度スポーツ推進事業について

○いわたボッチャフェスティバル

期 日	令和8年2月28日(土)
会 場	磐田市総合体育館
参加者	13チーム(47名)
内 容	子どもからシニア世代までの参加者が13チームに分かれトーナメント形式のボッチャ大会を開催。

○講師派遣事業

交流センター、小学校、施設等からの派遣依頼に対し、スポーツ推進委員を派遣し、ニュースポーツやパラスポーツ等の普及活動や運動指導を実施。参加者が楽しく体を動かしスポーツに親しめるように活動した。

また、「磐田市身体障害者スポーツ大会」の進行や競技運営の補助を行った。

○みんなの運動会 in IWATA

期 日 令和8年2月22日(日)

内 容 年齢や性別、障がいや特性の有無などに関わらず、誰もが参加でき、「楽しい！」を一緒に創る「みんなの運動会」を一般社団法人ASOBI主催、磐田市・磐田市元気と笑顔づくりパートナーズ共催にて開催。

○車椅子ツインバスケットボール大会の開催支援

期 日 令和7年8月17日(日)

内 容 四肢障がい者がスポーツの発展と社会への参加及び資質の向上に寄与し、健常者との触れ合いの場を広げようと企画。全国から選抜された5チームで開催。

令和 7 年度スポーツ推進事業について

○障がい者スポーツ選手等による講演や体験教室の実施

期 日	令和 7 年 8 月 28 日（木）
会 場	磐田商工会議所
参加者	47 名
内 容	あいおいニッセイ同和損保と連携し デフリンピック 2025 サッカー日本代表の松元卓巳氏を招いて 多くの人に障がい者スポーツに 対する知識を深めてもらい、 興味を持ってもらうことを目的に開催。 共生社会のヒントや、夢への挑戦に についての講演とともに、 簡単な手話教室も行った。 

令和 7 年度スポーツ推進事業について

政策Ⅲ スポーツ環境の基盤となる「人」と「場」の充実

Ⅲ-1 指導者やボランティアの確保

○指導者等を対象とした研修会の充実

期 日	令和 7 年 8 月 4 日（月）
会 場	磐田市アミューズ豊田
対 象	小学 5 年生以上、保護者、指導者、教職員 125 名
内 容	苫米地式コーチング認定ヘッドマスターコーチ青山龍氏を講師に招き、米国オリンピック金メダリストが活用する最新科学の脳の使い方を講演いただいた。子どもたちの「無限の可能性」を引き出すと共に、夢実現までのプロセスについて学んだ。 

期 日	令和 7 年 8 月 30 日（土）
会 場	ワークピア磐田
対 象	中高生の部活動に取り組む生徒とその保護者など 55 名
内 容	株式会社明治より栄養管理士の吉田綾乃氏を講師に招き、スポーツで失われた栄養素の効果的な補給方法や身体の構造を学ぶことで、パフォーマンスの向上や怪我をしないからだづくりに役立てて、運動・スポーツを長く続けるためのポイントを学んだ。 

○大学生のスポーツ推進委員への登用

静岡産業大学生らをスポーツ推進委員に登用

○指定管理者やスポーツ協会等と連携した指導者の確保

○中学生や高校生のスポーツイベントの参加促進

○スポーツいわたボランティアクラブ（SIVC）の活動に対する支援

令和7年度スポーツ推進事業について

Ⅲ-2 大学やスポーツ団体等との連携

- 大学やスポーツ団体・企業等と連携した運動プログラムの開発や施策の実施
静岡産業大学と連携し国際大会で活躍する学生を小学校へ派遣（なわとび）
YAMAHA 所属の黒山健一氏・野崎史高氏を招き、トライアルデモを実施
- 大学やスポーツ団体・企業等の保有するスポーツ施設の活用の検討
- 総合型地域スポーツクラブの充実を図る体制の整備
既存スポーツクラブへの支援

Ⅲ-3 施設を安全かつ円滑に使用するための取組

- 修繕計画の策定と適正な実施
修繕計画を策定し、施設が安全に使用できるよう施設の修繕を行った。
- 建設後 30 年以上を経過した施設が大半をしめるスポーツ施設について、再編整備に向けた検討に着手した。
- 指定管理制度を導入した施設の管理運営
- 公共施設予約システム・キャッシュレス決済・スマートロックの充実
- スポーツ施設以外でスポーツに親しむことができる場（ウォーキングコースや公園など）の紹介

令和 7 年度スポーツ推進事業について

政策Ⅳ トップレベルのスポーツを体感する機会の充実
Ⅳ-1 トップレベルのスポーツを「みる」機会などの充実

○ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の実施【再掲】

○静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦事業の実施【再掲】

○東京ヤクルトスワローズ野球教室

期 日	令和 7 年 11 月 15 日（土）
会 場	磐田市豊岡野球場
対 象	市内の中学野球部（中学 1 年生、2 年生） 市内野球スポーツ少年団に所属する小学 6 年生
参加者	88 名
内 容	西静岡ヤクルト販売株式会社と締結した市民の体力向上及び健康増進に向けた連携協定の一環として実施。現役選手 3 名が指導者となり、キャッチボールやトスバッティング等の指導を行った。 （指導選手） 高梨 裕稔 選手/投手 古賀 優大 選手/捕手 塩見 泰隆 選手/外野手



○野崎史孝氏によるトライアルデモの実施【再掲】

期 日	令和 7 年 11 月 16 日（日）
会 場	豊岡中央交流センター
対 象	ふるさとまつり参加者
参加者	約 400 名
内 容	ヤマハ契約ライダー野崎史孝氏によるトライアルデモを実施。モータースポーツを「みる」「知る」機会とし、モータースポーツに興味をもつきっかけづくりを目的とした。 地元企業である YAMAHA のモータースポーツ活動を市民に周知する場となった。



令和 7 年度スポーツ推進事業について

○T. LEAGUE 静岡ジェード戦誘致及び観戦招待事業の実施

期 日	令和 7 年 11 月 29 日（土）・30 日（日）
会 場	磐田市アミューズ豊田
対 象	磐田市民
参加者	11 月 29 日：52 名 11 月 30 日：89 名
内 容	県内で唯一のプロ卓球チーム「静岡ジェード」の卓球 T リーグ公式戦を誘致した。 間近でプロの迫力やスピード感を肌で体感してもらうため、静岡ジェードと連携し磐田市民を招待した。 29 日 vs 金沢ポート 30 日 vs 木下マイスター東京



○MLB PLAY BALL in IWATA

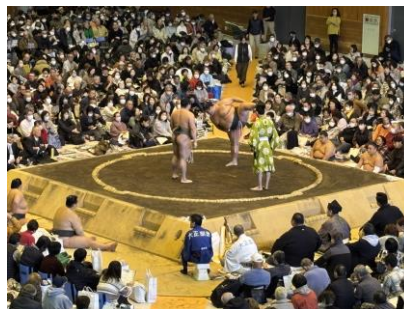
期 日	令和 7 年 12 月 10 日（土）
会 場	磐田市総合体育館
対 象	野球未経験また野球経験の少ないこども（5 歳～10 歳）
参加者	1 部：213 名 2 部：148 名 ミュージアム：896 名
内 容	元 MLB プレイヤーをゲストに迎え、野球の基本プレーを学べる体験型イベントを実施した。 併せて、MLB に関する貴重なアイテムを展示する MLB ミュージアムを同時開催した。 こどもたちに多様なスポーツの選択肢を提示し、関心を高める機会を提供した。 （ゲスト） マック鈴木 氏 藪 恵壹 氏



令和 7 年度スポーツ推進事業について

○大相撲磐田場所の開催

期 日	令和 7 年 12 月 18 日（木）
会 場	磐田市総合体育館
対 象	市内外問わずだれでも
参加者	約 3,000 人
内 容	磐田市市制施行 20 周年を記念し、磐田市では 34 年ぶりに「大相撲磐田場所」を開催した。 日本で伝統文化として根付く大相撲の開催は、トップレベルのスポーツを体感する機会を創出し、開催を通じて磐田市の認知度向上につながった。



○サッカー、ラグビーホームゲーム観戦招待事業の実施

ヤマハスタジアムで開催されるジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズ、静岡 SSU ボニータの試合を観戦することにより、プロスポーツを身近に体感し応援する気持ちを醸成させる。

対 象：サッカー：ジュビロ磐田（3 試合）、静岡 SSU ボニータ（1 試合）
 静岡ブルーレヴズ（2 試合）を対象試合として位置づけ実施した

○ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと小中学生の交流事業の実施【再掲】

令和 7 年度スポーツ推進事業について

○パブリックビューイング

期 日	令和 7 年 5 月 25 日（日）～令和 7 年 11 月 29 日（土） 全 6 試合開催
会 場	磐田商工会議所
対 象	参加者数 各回 100 人程度
内 容	現地に足を運べないサポーターとともに後押しをするため開催。全 6 試合を行った。 第 17 節 徳島ヴォルティス 第 22 節 ロアッソ熊本 第 26 節 水戸ホーリーホック 第 34 節 愛媛 FC 第 36 節 レノファ山口 第 38 節 サガン鳥栖



○トップアスリートを招いた教室の開催

期 日	令和 7 年 9 月 19 日（金）～令和 8 年 3 月 12 日
会 場	小学校体育館
実施先	磐田北小学校 外 10 校
内 容	三遠ネオフェニックスの元プロ選手で、現在はフロントスタッフ（職員）としてクラブに在籍している鹿毛 誠一郎氏などが学校を訪問し、子どもたちと交流・ふれあいを行った。訪問校数は過去最多を更新し、バスケットを楽しんでもらうきっかけを提供できた。



令和 7 年度スポーツ推進事業について

○黒山健一氏夢語り（トライアルデモ・講話）

期日等	令和 7 年 12 月 17 日（水）、18 日（木）	
指導校	竜洋北小、磐田北小、磐田南小	
対 象	小学 5・6 年生	
参加者	竜洋北小 66 名・磐田北小 134 名・磐田南小 86 名	
内 容	ヤマハ発動機と共催し YAMAHA 契約ライダー黒山健一氏等を招き、 「夢を持つことや、その夢に向かって 努力することの大切さ」「仲間と協力する ことの大切さ」などの講話を実施。 トライアルデモも実施し、本物を感じる機会となった。	



○松元卓巳氏講話 ※東京デフリンピック 2025 サッカー日本代表主将

期日等	令和 8 年 1 月 27 日（火）	
指導校	東部小	
参加者	小学 4 年生 130 名	
内 容	あいおいニッセイ同和損保と連携し 松元卓巳氏を招いて福祉とキャリア教育の観点から講話を実施。 東京 2025 デフリンピックの 話も交えながら お話いただいた。	



令和7年度スポーツ推進事業について

IV-2 スポーツに係る広報活動・情報提供

○本市ゆかりの選手、チームの活躍を発信する機会の増加

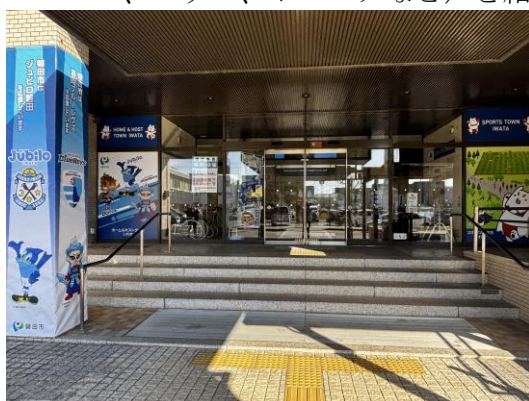
施設、駅等への横断幕の設置、チームマスコット等を活用したのぼり旗等の作成

○磐田商工会議所と連携し、ホームゲーム開催時におけるフラッグ掲出

○御厨駅改札正面の壁面と磐田市役所本庁舎に「スポーツのまち」と「ホーム&ホストタウン」をPRする装飾を実施。

○HP や SNS などの情報通信技術を活用したスポーツ情報発信

市役所1階展示コーナー、磐田市情報館（ららぽーと磐田内）を活用し、地元チーム（ジュビロ、レヴズ、ボニータなど）を紹介。



令和 7 年度スポーツ推進事業について

政策 V 新たな時代に対応した施策等の実施

V-1 いわたスポーツプラットフォーム

○プロスポーツチーム、企業、金融機関、団体、大学、行政など、スポーツをテーマにした取組に関心のある様々な関係者を対象とした講演会等の実施。

期 日	①令和 7 年 7 月 23 日（水）、② 8 月 27 日（水）、③10 月 2 日（木）、 ④10 月 30 日（木）、⑤令和 8 年 1 月 28 日（水） 計 5 回
会 場	磐田商工会議所（①、③、④） 磐田市民文化会館「かたりあ」（②、⑤）
対象者	プロスポーツチーム、企業、金融機関、団体、大学、行政
参加者	①20 社 35 人、②19 社 24 人、③22 社 29 人 ④22 社 28 人 ⑤35 社 47 人 延べ 118 社 163 人
内 容	対象者が共創により、新たな価値を創造するために、講演会やワークショップ、課題発表会などを開催し、情報を共有・連携する場を創出した。 また、この取組みは、スポーツ庁が主催する『「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰 2025』において、受賞した。



V-2 スポーツ以外の事業を活用したスポーツ施策の推進

○観光施策などと融合したスポーツイベントの実施

○アウェイゲームでの磐田市 PR ブースの出展

○静岡県市町対抗駅伝競走大会の支援

令和 7 年 12 月 6 日（土）成績：市の部 11 位。2 時間 17 分 42 秒